

校長室より

令和7年1月17日(金)

「今、ゆるすぎませんか」



3学期がスタートして約10日がたちました。新しい年を迎えただけあって、生徒のみなさんの顔つきや行動に成長した部分を感じることができました。

さて、先日、私はある講演会に参加する機会に恵まれ、心に残った内容が5つあったのでお知らせします。講師は、令和4年に福井銀行の第9代頭取になった長谷川英一さんです。長谷川さんは今までの福井銀行のやり方を抜本から見直し、福井銀行の新しい形を作り続けている人です。では、さっそく一つ目から…。

- ①感謝力を身につけよう…親切に対して、日常(健康)に対して、逆境に対して
- ②明るい学校にするには…先生も生徒も関係なく、笑顔で過ごそう、あいさつをしよう、話しかけよう
- ③自分の考えを人にわかってもらうためには…内容がシンプルであること、一貫性があること、ストーリー性があること、繰り返し伝えること
- ④人生の方程式(稲盛和夫氏の教え)…人生=考え方×熱意×能力

この方程式で稲盛氏が伝えたいのは、特に何の能力もなく、先天的に優れている点がない人であっても、熱意と考え方さえ正しければ、熱意を持たない天才を上回る結果を出すことができる可能性がある、ということです。

⑤福井銀行の人事ポリシー…「厳しさと温かさの両立」

組織のリーダーにとって、これらの両立は大変難しいことは私自身もよくわかっています。長谷川さんは、最悪なのは「無関心」であること、次によくはないのは「厳しいだけ」と「温かいだけ」とおっしゃいました。また、現在、社会情勢が大きく変化し、個人の考え方が多様化していく中で、「丁寧すぎる」「ゆるい感じ」が大変気になるともおっしゃいました。これは、長谷川さんだけが感じていることではなく、私も学校現場である種の危機感を覚える場面が増えたように感じます。かなり以前、私は先輩から「厳しさの中にぬくもりのある指導」か「ぬくもりの中に厳しさのある指導」どちらかなんだよ。と教えられたことがあります。私は今でもこれは不易のこととして自分の指針にしています。